



幼児の笑顔のために 幼児教育支援センターだより

令和7年 2月号 No. 31
流山市教育委員会指導課
幼児教育支援センター発行
TEL 7154-8081

登園し、身支度を整えると園庭に出て、元気に縄跳びをする姿がみられます。
「子どもは風の子 元気な子」ということわざは江戸時代から使われていたようです。どんなに寒くても子どもは、外遊びが大好きです。遊びに夢中になりながら自然と身体が鍛えられ丈夫になるのですから、こんな良いことはありません。また、幼児期は何をやっても身になる時期です。脳の神経回路のつなぎ目シナプスは、6歳頃までに8割近くが作られると言われています。身体を動かすことは、手足を自由に使えるようになり、脳の発達も促せるということに直結します。健康な心と身体を育んでいきたいですね。



家庭で大切にはぐくみたいこと



生活習慣の自立に向けていきましょう

- ・洋服の脱ぎ着や洋服をたたむことはできる
- ・道具の準備や片づけができる
- ・靴を正しく履く、揃える
- ・洗顔やうがい、歯磨きができる
- ・鼻がかめる
- ・決まった時間に就寝する



☆できたことを褒めながら、自発的にできるようにしていきましょう。

特に眠りは大切です。早寝早起きは病気知らずと言われます。子どもの健康づくりを中心に大人も健康でいられるように心掛けましょう。朝晩のルーティーンを決めることもいいですね！

早寝、早起きなぜ大事？

- ・学習意欲、体力、気力のUPに繋がります
 - ・脳は寝ている間に必要な情報を記憶します
- 遅寝で朝ごはんを抜きがちなの傾向
- ・気分が落ち込みやすい
 - ・イライラする
 - ・意欲がわからない
 - ・疲れやすい
 - ・集中力、記憶力の低下
 - ・注意散漫
 - ・うっかりミスが増える



◎朝機嫌のいい子は、一日中機嫌が良いです
◎友達との遊びにも、勉強にも意欲的になれる。
＜千葉県子育て応援サイトより抜粋＞

幼児期の「遊び」は学びの土台となります

- ★ しりとり、なぞなぞ、かるたなど言葉遊びをたくさん経験させましょう。
- ★ パズル、積み木遊び、ブロック、すごろく、トランプ空き箱などを使った創作遊びなども楽しみましょう。
- ★ 色塗りや線のなぞりなどもたくさん経験しましょう。
- ♥ 外でたくさん遊ぶことを心がけましょう。
- ♥ 体を動かす遊びは脳も心も体も成長させます。
- ♥ 自然に親しんだり、土に触れたりする遊びを親子で楽しみ、子どもと素敵な触れ合いをしましょう。



親子で絵本を見る時間を大切に♪

進級・入学前の期待と不安が入り混じる頃、絵本をゆっくり見る時間を作ってみませんか？となく、忙しいと抜きがちですが、豊かな語彙形成や記憶力の定着、想像力など絵本から得られるものは貴重です。わずかな時間でも毎日少しずつ繰り返すことで豊かな心をはぐくみましょう。



“子どもとの対話を大切にしましょう”・・・親との会話が社会性を育む第一歩となります。幼児は言語力も表出の力も弱いですが、頭の中に記憶している”ことば“はたくさんあります。少し時間がかかっても、本人の意思を尊重し聞いてあげましょう。伝えあうことの楽しさを実感し、自信がもてます。

「やってみたい」「おもしろい」「なんだろう」「ふしぎだな」「どうして!」「なぜ?」

たくさんの「面白い」を体験し、楽しい経験を積むことが、幼児の心と身体を成長させます。意識して応援しましょう! 時には図鑑を一緒にみるなど疑問にお付き合いしてあげてください。

幼児期の終わりまでに育ってほしいの姿



上の図は、5歳児後半に資質・能力が育っている具体的な姿です。(これは、到達目標ではなく、一人一人の発達に応じて育っていきます)

例えば、砂場において
サラサラの水を加えてドロドロにし、それをコップに



入れて量を見るのは、「数量・図形への関心・感覚」、砂の型抜きをして、葉っぱや花びらを飾るのは「豊かな感性や表現」、ダムを作っているときに水の通し方の意見を出し合うのは「言葉による伝えあい」です。また、鬼ごっこであれば、自分と他人の役割分担があり、仲間と共有する楽しさを味わうのは「協同性の学び」、逃げる、あるいは捕まえるにはどうしたらよいか判断したり、作戦を練ったりするのは「思考力の芽生え」、体を動かす喜びを楽しく感じるのは「健康な心と体」トラブルなく楽しく遊べるように自分たちでルールを作るのは、「道徳性・規範意識の芽生え」など。

このように、ひとつひとつの遊びを通して幼児期に学んだ基礎力が小学校以降の教育に繋がっています。ご家庭でも「遊びから学ぶ」という体験ができるよう力をあわせ見守っていただければ幸いです。



幼児期の学びに無駄な経験はありません。失敗したらやり直せばよいことを知ることも大切です。諦めずに何度でもチャレンジできる気持ちが育つように応援してあげましょう。



<ほめ言葉>使っていますか?

当たり前のように、子どもにとっては素晴らしいごほうびになります。親子ともども笑顔になれたらいいですね。

♡できたね ♡えらいね ♡すばらしい
♡すごいね ♡うれしい ♡がんばったね
♡かっこいいね ♡すてき

状況に応じて事実の言葉を添えて使ってみてください。できるだけ「○○ができてすてきだね!」など。認めることが成長の栄養剤です。



10/22に子育て相談を実施しました。

☆朝ごはんのバランスに悩んでいます。
☆褒め言葉を上手に使えないのですが。
☆子どもとの会話を膨らませるには?
☆小学校での生活が心配になります。
お互いの不安を話し合うことで、悩んでいるのは自分だけではないという安心感を持てたようです。

就学前の子ども達は、期待と不安が入り混じる不安定な時期です。にこにことした笑顔で、子どもの話に耳を傾けてあげましょう。



電話相談・来所相談(要予約)を行っています。

※一人で悩まずに、まずは電話で話してみませんか♡



【幼児教育相談】

TEL 04-7154-8781

電話相談・来所相談(要予約)

月・火・木 9:00~14:00

☆お気軽にお電話ください

